

館長プレゼンツ オーケストラシリーズ Vol.1 益城 de クラシック

～音楽家の皆様の支援で地震の被災から再生した2台のピアノを使って～

Profile

ラスカーラ・オペラ管弦楽団 管弦楽



2009年、オペラを専門に演奏する「熊本オペラ管弦楽団」と称し、石垣博志楽団長のもと結成。

2010年に公演した前芸術監督S.マストランジェロ指揮のオペラ「オテッロ」上演を経て、2011年にラスカーラ・オペラ協会発足と同時にラスカーラ・オペラ管弦楽団と改称する。今までに公演したオペラでは、前述の「オテッロ」に加え、「椿姫」「マメリ」「アイーダ」「カルメン」を演奏。特にオペラ「マメリ」は95年ぶりの世界復活初演であった。さらに、次代を担う子供達のために生のオーケストラを体感してもらおうと、オペラ「ヘンゼルとグレーテル」を6回上演している。

オペラ以外では、ヴェルディの「レクイエム」、R.ワーグナーの生誕200年を祝しオペラガラコンサートも演奏、ニューイヤーコンサートや学校公演も行なっている。

現在の音楽監督は指揮者のマルコ・ティット氏。

第53回 熊本県芸術文化祭奨励賞受賞(2011年公演 オペラ「マメリ」公演により)

第1回 熊本芸術文化学術振興市民財団奨励賞受賞(2013年公演 オペラ「アイーダ」公演により)

大塚 正子 ピアノ



熊本県立第一高等学校、大分県立芸術文化短期大学、武蔵野音楽大学卒業。ピアノを上村澄春、国府佳子、末松教子、山田彰一、堀江真理子、小林万里子、高石香、黒川浩の各氏に師事。和波孝喜・土屋美寧子室内楽セミナー、デュオハヤシ室内楽セミナーを受講。活水女子大学において10年にわたり教会オルガニスト講習会を受講。パイプオルガンをスコット・ショウ、玉理照子、古賀智恵子、堀江光一、秀村知子の各氏に師事。第17回熊日学生音楽コンクール高校ピアノ部門最優秀賞。大分県立芸術文化短期大学卒業演奏会、北九州芸術祭、熊本県新人演奏会、NHK美術館コンサート、アンサンブルユニコンサート、むさしのカンタービレ、おんぶ館など多数のコンサートに出演。'08東京国際芸術協会伴奏ピアニストオーディション合格。現在、熊本中央高等学校教諭。熊本ユースシンフォニーオーケストラ指導者。

服部 由香理 ピアノ



熊本市立必由館高等学校卒業。大分県立芸術文化短期大学音楽科楽専攻卒業。第22回八代青少年音楽コンクールにてピアノ部門一般クラス金賞受賞、熊本日日新聞社賞受賞。第46回熊本県新人演奏会出演。「おんぶ館」のメンバーとして第6回おんぶ館演奏会から出演。これまでに大曲正子、竹下千晴、中島利恵、本村久子の各氏に師事。元ヤマハ音楽教室システム講師。現在ピアノ講師。その他楽器伴奏、合唱伴奏、ブライダル演奏等を行っている。

山口 亮二 指揮・益城町文化会館館長



県立熊本高等学校卒業。1979年熊本大学のオーケストラでホルンを始める。1980年より熊本交響楽団(熊響)でも演奏に参加。その後、熊本ユースシンフォニーオーケストラ(KYO)へエキストラとしてたびたび演奏に参加し、1984年 KYOのヨーロッパ演奏旅行参加を機に KYO団員となる。

1986年より KYOの指導者に就任。また、熊響では団内練習指揮も務め、アメリカ演奏旅行やヨーロッパ演奏旅行ではメインプログラムの1stホルンを担当。

滋賀県大津管弦楽団、福岡六本松アンサンブル、福岡市民オーケストラでもホルン奏者として在籍。福岡市民オーケストラでは団内練習指揮も務める。

2009年に熊本オペラ管弦楽団の創設に参画。これまでに県内ソロコンクールの審査員なども務めている。ホルンを村上哲氏、岡本秀樹氏に師事。専門は機械設計で半導体製造装置の開発設計に従事していたが、2015年より益城町文化会館の館長に就任。 KYO指導者。日本ホルン協会会員。

Access

益城町文化会館 <http://mashiki-culturehall.net>

〒861-2242 熊本県上益城郡益城町木山 381-1
TEL : 096-286-1511 (受付時間 9:00~17:00、月曜休館)

感染症予防対策にご協力ください

※検温時に37.5℃以上あった場合、入場できません。

※新型コロナウィルス感染症の拡大状況によっては、急遽公演を変更・中止する場合がございますので、必ずホームページ等で最新情報をご確認の上ご来場ください。



※駐車場には限りがございます。
公共交通機関のご利用やお乗り合わせの上、ご来場ください。